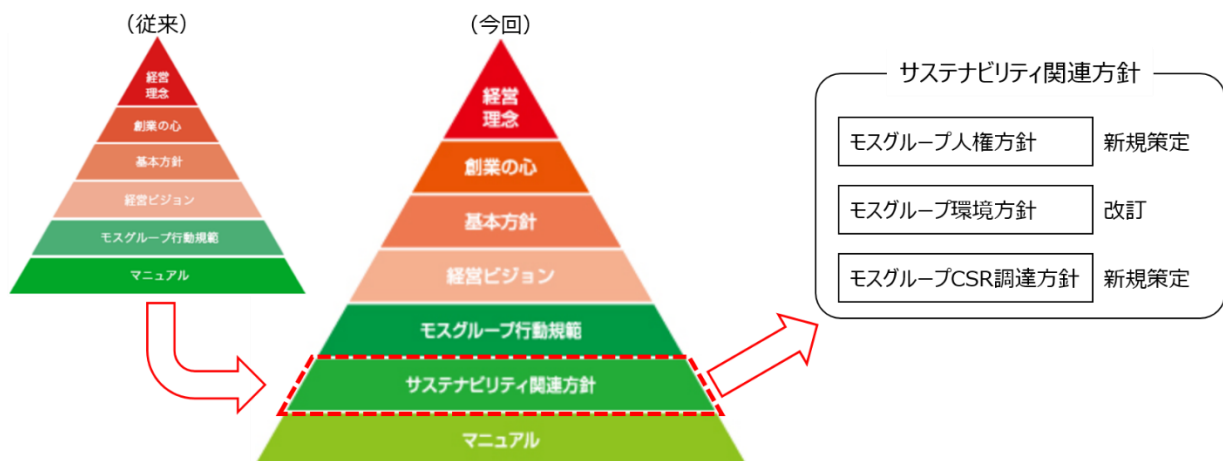


「人権方針」「環境方針」「CSR 調達方針」の3つの方針 サステナビリティ経営の実現に向けた方針を策定 「気候変動への対応」も公開

モスバーガーを展開する株式会社モスフードサービス（代表取締役社長：中村 栄輔、本社：東京都品川区）では、このたび新たに「サステナビリティ関連方針」として「モスグループ人権方針」「モスグループ環境方針」「モスグループ CSR 調達方針」の3つの方針を策定・改訂します。モスグループの理念・行動体系に ESG の視点を明確に組み込むことで、社会的責任を重視しつつ持続的な企業価値向上を目指す経営を進めていきます。

また、モスグループでは、2°Cと4°Cの2つの気候変動シナリオ分析を実施し、2030年までの社会を考察して事業影響を検討しました。今後は2050年までの中・長期的影響についても検討を進めていきます。

【モスグループの理念・行動体系】



①サステナビリティ関連方針

■モスグループ人権方針

当社ではこれまで「モスグループ行動規範」で人権配慮を掲げてきましたが、世界的に人権問題への関心が高まるなかで、今回新たに「モスグループ人権方針」を策定しました。「差別」や「ハラスメント」はもとより「強制労働と児童労働」「労働安全衛生」などの人権課題を重要な項目と認識し、持続可能な事業活動を行う企業として国際的な原則に則った人権尊重の取り組みを進めます。

■モスグループ環境方針

当社では2003年に「環境方針」を策定しこれを遵守してきました。今回、社会的要請に照らし合わせ「生物多様性」に関する項目を追加し、「モスグループ環境方針」を改訂しました。

■モスグループ CSR 調達方針

当社ではこれまで「モスバーガーグリーン調達ガイドライン」により環境に配慮した調達を進めてきました。これに、今回策定した人権方針をベースとする労働人権配慮の内容を加え、公正取引や環境保護とともにサプライチェーン全体に対する「モスグループ CSR 調達方針」を策定しました。

②気候変動への対応

モスグループは、気候変動に関するリスクと機会を重要な経営課題の一つと認識しており、TCFD※（気候関連財務情報開示タスクフォース）の提言に沿った「ガバナンス」「戦略」「リスク管理」「指標と目標」について情報開示を行います。

今回は、2℃と4℃の2つの気候変動シナリオ分析に基づく2030年までの社会的変化を考察し、事業影響を検討した結果、物理的リスクとして原材料の調達に関わる事項、大きな自然災害による事業活動の停滞を重要な経営課題と認識しています。今後は2050年までの中・長期的影響についてさらに考察を深めるとともに、具体的な対策を検討・推進していきます。

※TCFD（The FSB Task Force on Climate-related Financial Disclosures 気候変動関連財務情報開示タスクフォース）は、企業が気候変動への対応を経営の長期的リスク対策および機会の創出として捉え、投資家などに向けた情報開示や対話を促進することを目指しています。

なお、今回の「サステナビリティ関連方針」「気候変動への対応」に関しては、モスフードサービス企業サイトの関連ページをリニューアルし、3月31日（水）より公開します。

<実施概要>

- 公開情報 : ①サステナビリティ関連方針 ※以下3つの方針から成る
「モスグループ人権方針」
「モスグループ環境方針」
「モスグループCSR調達方針」
②気候変動への対応
- 掲出場所 : モスフードサービス企業サイト／サステナビリティ
<https://www.mos.co.jp/company/csr/>
- 掲出開始日 : 2021年3月31日（水）～

店舗の休業や営業時間の変更および、メニューの一部を販売中止している場合がございます。また、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、お客さまの安全を第一に考え、安心してご利用いただけるように努めております。詳細は公式サイトをご確認ください（<https://www.mos.jp/>）。

<報道関係者からのお問い合わせ先>

株式会社モスフードサービス 広報 IR グループ TEL. 03-5487-7371 FAX. 03-5487-7389
<https://www.mos.co.jp/company/> E-mail. pr@mos.co.jp

<お客様からのお問い合わせ先>

お客様相談室 TEL. 0120-300900